

令和7年10月8日

関係各位

登米市剣道連盟
会長 熊谷 敏明
(公印省略)

令和7年度 登米・栗原地区剣道段位審査会の開催について（ご案内）

清秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じ上げます。

さて、標記審査会を下記のとおり開催いたしますので、多数受審されますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和7年12月13日（土）
受付 8:30～9:00 ※時間厳守 審査開始 9:30
- 2 会 場 登米市南方武道伝承館（登米市南方町西山成前16-1）
- 3 審査段位 初段・二段・三段
- 4 審査科目 1) 実技
2) 日本剣道形（初段：太刀3本、二段：太刀5本、三段：太刀7本）
3) 学科
別紙〔昇段審査学科提示問題〕から3問中2問を選び、400文字詰め原稿用紙（B4縦書き厳守）1枚にまとめ（直筆記入、1問につき150字以上濃い鉛筆（シャーペン））審査当日受付時に提出すること。
※記入方法はそれぞれ問題文を記載し、次の行から解答を記入すること。
なお、受審段位・番号・氏名を当日受付提出前に確認し、原稿用紙右側欄外に記載すること。
- 5 受審資格 全日本剣道連盟の所属会員で次の条件を満たしている者。
初段…審査時に満13歳以上で、1級を取得している者。
二段…初段受有後1年以上。（前年の同月に初段に合格）
三段…二段受有後2年以上。（前々年の同月に二段に合格）
- 6 申請書記入上の注意事項、他
 - 1) 氏名・生年月日(元号)は、本人が楷書で丁寧に記入すること。（黒ボールペン使用）
なお、年齢は受審日時点の満年齢を記入すること。
 - 2) 現段・級位を取得した受審場所を明記すること。（例：〇〇市〇〇体育館）
 - 3) 郵便番号・電話番号・全剣連番号(前段位証明書の左下に記載有)を必ず記入すること。
 - 4) 各市郡剣道連盟会長印については、所属の市郡剣道連盟事務局が申請書類を確認後に一括して捺印する。
- 7 添付書類 現段・級位証書の写し（白黒コピー・A4に縮小）を添付すること。

8 申込締切 令和7年11月26日(水) 必着 ※ 電話・FAX 申込は受付しない。

9 申込先

栗原市：〒989-5615 栗原市志波姫沼崎南原 1-2 小野寺世洋 宛 Tel 0228-22-7548

登米市：〒987-0511 登米市迫町佐沼字北散田 25-16 鎌田 喜重 宛 Tel 090-6852-6542

※ 締切期日後は受付しない。

10 段位納付金

段位納付金と合格証書郵送料は、当日受付にて納入。(お釣りの無いように準備すること)
(所属学校へ郵送の場合は 200 円、自宅へ郵送場合は 300 円が必要)

段 位	入 会 金	審 査 料	登 録 料	合 計
初 段	3,000	2,000 (600)	10,000 (10,000)	<u>15,000</u> (13,600)
二 段	—	3,000 (900)	16,000 (16,000)	<u>19,000</u> (16,900)
三 段	—	4,000 (1,200)	20,000 (20,000)	<u>24,000</u> (21,200)

※ 但し、二段・三段の合格者で宮城県剣道連盟に未加入者は、入会金 3,000 円が必要。

・他県で剣道初段を取得した場合は、入会金の 3,000 円を追加して納入すること。

・他県で剣道二段までを取得した場合は、入会金の 3,000 円を追加して納入すること。

・表中の () 内の金額は、再審査料[形のみの受審者]である。

11 携行品

1) 防具一式(面マスク・家庭用マスク含む)

2) 木 刀(太刀)

3) 筆記用具

12 その他 (個人情報保護への対応)

申込書に記載される個人情報(登録県名、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、段位・級位、職業等)は、宮城県剣道連盟が実施する本審査会のために利用する。

【 注意事項 】

※ 昇段審査受審希望者は別紙「感染症予防ガイドライン」を確認すること。

※ 感染症への対応を鑑み、審査料・登録料等お釣りが無いように準備すること。

※ 今後の感染症の状況により、審査会が変更・中止になることもある。

※ 身体的障害等(怪我等)がある場合は、受付にその旨を申し出ること。

※ 受付時間を厳守すること。(受付時間を過ぎると欠席となる)

※ 受審者及び審査関係者以外は、審査会場への入場はできない。

保護者、引率者は観覧席からの観覧を可とするが、観覧をする場合は、別紙「感染症予防ガイドライン」を確認すること。

やむを得ず欠席する場合には、下記まで連絡すること。

登米市剣道連盟 事務局 鎌田 喜重 090-6852-6542

昇段審査学科提示問題

1 初 段

- (1) 剣道を始めた動機を書きなさい。
- (2) 中段の構えを説明しなさい。
- (3) 剣道防具のつけ方の注意点を書きなさい。

2 二 段

- (1) 剣道を始めて良かったことを5つ以上書きなさい。
- (2) 切り返しの必要性について書きなさい。
- (3) 打突の機会について説明しなさい。

3 三 段

- (1) 剣道の先生から学んだ良い点について書きなさい。
- (2) 下記のそれぞれの構えについて説明しなさい。

イ. 中段構え ロ. 上段構え ハ. 下段構え ニ. 八相構え ホ. 脇構え

- (3) 残心について説明しなさい。

上記の3問中2問を選び、400字詰原稿用紙（B4判縦書き・厳守）1枚にまとめて、
受審当日受付に提出のこと。

なお、問題文をそれぞれ1行取って記し、次の行から解答を書き出すこと。

また、受審段位・番号・氏名は受付で確認の後、原稿用紙右側欄外に記すこと。

以上

初～五段 受審番号	番
--------------	---

申請日： 令和 年 月 日

宮城県剣道連盟会長 殿

段 位 審 査 申 請 書

市(区) 郡 剣道連盟会長 (印)

受審段位	段	全剣連番号				
ふりがな				ふりがな		性別
氏 名				旧姓		男 ・ 女
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日 (歳)					
現 住 所	〒 -					
電 話 番 号	自 宅	- -				
	携帯電話	- -				
職業 (○で囲む)	01 生徒	02 学生(専・大)	03 警察官	04 自衛官		
	05 教員	06 公務員	07 会社員	08 自営業		
	09 団体職員	10 主婦	11 その他	12 無職		
	13 刑務官	14 医師	15 教員大学	16 教員高校		
	17 教員中学	18 看護師	国家公務員		地方公務員	
学 校 名	学校				学年	
所 属 連 盟	市(区)郡剣道連盟					
活 動 歴	各道場や団体、学校(剣道部)の名称と年数及び現在の主な稽古場所を記入すること。					
	小 学 校 ()年～()年 ()					
	中 学 校 ()年～()年 ()					
	高 校 ()年～()年 ()					
	大 学 ()年～()年 ()					
一 般 ()年～()年 ()						
現在の段位	段	取得年月日	昭・平・令 年 月 日	都道府県 登録時 名	受 験 場 所	
現在の級位	級		昭・平・令 年 月 日	登録 番号		

- 注 意 事 項 ◎楷書で正確に記入すること。
- ◎受審資格を確認し、所属連盟を経由(承認)の上提出すること。
- ◎受審者は既取得級位、段位証書の写し(A4に縮小)を必ず添付すること。
- ◎「全剣連番号」(現段位証書の左下に記載されている番号)を必ず記入すること。但し、証書に全剣連番号が記載されていない場合は空欄でよい。